

# 新規参入者の知識習得および地域への定着支援

- ◆西部支所地域係
- ◆活動年次：令和3年度
- ◆対象：令和3年度農村ゼミナール受講生(8戸)

(課題番号 14)

## 1 課題の背景

平成24年度から新規参入者および農家子弟の育成・技術習得を目的とした「農村ゼミナール」を開講している。

令和3年度は、8戸の受講生に対して栽培技術の向上を目的に研修会を開催した。

## 2 活動の経過

- 研修会は、延べ9回開催。
- 夏季は現地ほ場で、トマトの茎の太さや土の硬さを体感。
- 冬季の座学は、WEBで開催。自宅での受講が可能に。

		時期	内容	場所
第1回	実習	5月	生育診断手法の習得	平取町振内
第2回	資料配付	7月	先進農家の取り組み紹介	
第3回	実習	10月	土壌断面研修	平取町幌毛志
第4回～第8回	座学	11月～2月	病害虫の見分け方、土壌・肥料、育苗～定植 環境モニタリング	WEB
第9回	座学	3月	農業経営	JAびらとり



図1 先進農家の紹介資料



写真1 コロナ禍に対応したwebによる開催



写真2 JAと連携した研修会

## 3 活動の成果

- トマトの育苗管理や生育判断手法等の栽培技術を習得した。
- 農業の基本となる土壌と肥料に加え、スマート農業に関する知識が向上した。
- 各研修会での交流を通じて、ゼミ生同士に深い絆が生まれた。



写真3 生育診断手法を習得



写真4 土壌の硬さを体感

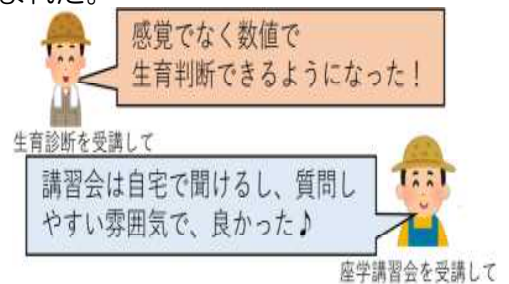


図2 ゼミ生達の声

## 4 今後の課題

- 令和4年度は平取町で新たに4戸の新規参入者を受け入れるため、農村ゼミナールを継続する。